キャラクター名
桐矢 朱音

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス ノイマン	ワークス	喧嘩屋	カヴァー	アカデミア学生
オプショナル	ブラム＝ストーカー	年齢	15	性別	女
覚醒	生誕	衝動	破壊	初期侵食率	38 %
出自	母親不在	経験	失ったもの	邂逅	恩人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	1	0			2
感覚	1		0			1
精神	5		0		4	9
社会	1		0			1

HP	33
行動値	11
(非装備時)	11
戦闘移動	16
全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	7		射撃			ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：アカデミア	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
赤き剣	白兵	2r+7	5	28		②③ コスト5 Lv*2までHPを消費できる　攻撃力[消費したHP+8]
赤き剣[100%↑]	白兵	2r+7	5	33		②③ コスト5 Lv*2までHPを消費できる　攻撃力[消費したHP+8]
	白兵	9r+7		28		④⑦ コスト7　装甲無視　9dx+7@8
[80%↑]	白兵	11r+7		56		④⑤⑧ コスト12　装甲無視　11dx+7@8

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
Cランク I	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
Dロイス：実験体	P	N		
シャルロッテ・シノン	P　信頼	N　不安		
大鋏の女	P　執着	N　憎悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　2	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
原初の青：斥力跳躍	1	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果：飛行状態で戦闘移動を行う　移動距離+[Lv*2]								
赤き剣	4	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果：Lv*2以下のHPを消費して武器を作る								
破壊の血	4	2	マイナー	至近	自身	自動	リミット	
効果：『赤き剣』の攻撃力+Lv*3 G値+5　HP2消費								
渇きの主	4	4	メジャー	至近	単体	対決		
効果：Lv*4回復する　装甲無視								
コントロールソート：白兵	1	2	メジャー	武器		対決		
効果：組み合わせたエフェクトの判定を『精神』で行う								
原初の白：オーバーロード	1	5	オート	至近	自身	自動	80↑	
効果：命中判定直前に行う　攻撃力+[使用している武器ひとつの攻撃力]する								
原初の灰：デトネイトモード	1	5	オート	至近	自身	自動	破壊120↑	
効果：命中判定直前に行う　攻撃に使用する武器の攻撃力を2倍にする　メイン終了後にHP5点失う								
CL：ノイマン	2	1	メジャー					
効果：C値-Lv(下限7)								
血の宴	1	3	メジャー		範囲(選択)	対決		
効果：対象を『範囲(選択)』に変更する								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

母親は自分を生んだ直後に死んだと聞かされ、幼いころから全寮制の学校に入学させられた。
その結果家族というものを知らずに育った少女はその全寮制の学校での荒んだ生活により立派にグレて不良少女となった。

ある日、父から一時帰宅しろとの連絡が手紙で届きそれに従い家に帰ると家が燃えていた。
中に飛び込み父を探す、すると腹から血を流す父の姿を見つけ駆け寄ったが父の意識は朦朧としておりうわ言のように自分の名前と『UGNを頼れ』と繰り返す。
何とか父を担ぎ外へと避難したがすでに父は事切れていた。
ふと視線を感じそちらを見ると女の後ろ姿が見つける、その女は血の付いた大きな鋏を持っていた。
犯人と思しき女を追いかけるが敢無く逃がしてしまう。

父のそばまで戻ると今度は知らない男女がその場にいた。
女はケータイで電話を、男は父を担ごうとしている、カッとなった朱音はその男に殴り掛かる。
しかし朱音の拳は軽々と避けられ何をされたのかもわからない内に意識を失ってしまう。

目が覚めるとどこかの医務室のような場所、朱音が目覚めたと知るとすぐに一人の人間が面会にきた。
自分と同じ年頃の少女だった。　名をテレーズ・ブルムというらしい。
そしてそのテレーズからことの説明を受ける。

父はUGNという特殊能力者の集まる組織に所属していた研究者であったこと
研究によってFHという敵対組織への打撃を与えるに値する研究成果を得ていたこと
その成果を今回の襲撃で敵に奪われたこと
父の救助に向かった人員が急に襲われたため思わず返り討ちにしてしまったこと
そして自分自身もオーヴァードであるということ